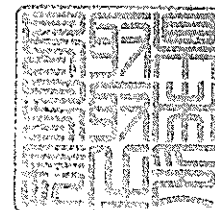




都整第 85 号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 宮田 年耕 様

鳥取市長 竹内 功



道路整備の中期計画作成に係る意見について (回答)

平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のあったこのことについては、別紙のとおりです。

道路整備の中期計画作成に係る意見

道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤である。その整備は、活力ある地域社会や安全・安心で快適な市民生活を実現する上で必要不可欠であり、以下の3つの観点から意見を申し述べる。

1 地域の発展を支える骨格道路網の整備

日本列島の骨格を構成する高規格幹線道路が既に完成し、人や物がアクティブに動いて地域の発展に寄与している地域がある一方、我が鳥取市を始めとする山陰地方などようやく順番が回ってきて、これから整備に着手する地域もある。今回の道路特定財源の見直しや中期計画作成が、こうした整備後発地域の切捨てにならないようにすべきである。

本市は、中国横断自動車道姫路鳥取線を始め、日本海国土軸を形成する高規格道路山陰自動車道、地域高規格道路鳥取豊岡宮津自動車道などの骨格道路網について、今後10年以内に完成していただくよう強く要請する。

2 衰退する中心市街地の再生

地方都市にとって重大な課題である中心市街地再生を進めるに当たり、例えば、歩行者交通や自転車交通を中心とした道路への改築、トランジットモール化やLRTの整備、道路の一部を交流空間として使用する、ヨーロッパによく見られる広場の整備など、道路整備は非常に有力なツールである。また、交通政策の見直しに伴う駅前広場の改築や、区画整理・再開発による効率的で魅力的な市街地への再編など、中心市街地再生に向けた相当の投資が必要となっている。今後、このようなニーズはますます高まるどころであり、暫定税率の引下げや一般財源化には慎重な対応をすべきである。

本市においては、中心市街地の再生を最重要課題のひとつとして、中心市街

地活性化基本計画の見直し等に取り組んでいるところであり、この中で駅前ターミナルの機能強化、公共交通システムの再編・整備などが検討課題となっている。

3 増大する維持管理・補修等費用への対応

今後、道路の維持管理費がますます増大し、地方財政を圧迫することが予想される。特に橋梁は大小を問わず更新時期を迎えるものが多く、安全性の確保のためにも緊急の対応が必要となるとともに、住民の身近な道路においても、施設の老朽化による陥没や補修を重ねてきた路面の安全性の低下などが課題となっている。住民の安全・快適で便利な移動環境を確保するため、道路特定財源を維持管理・補修にも活用すべきである。

本市では、橋梁のみに限ってみても、長寿命化のための補修費が、今後、約100億円必要との試算があり、大きな財政負担となることが予想されている。

以上のとおり、地域における道路整備は非常に重要であり、国においても重要性を深く認識され、必要な道路整備予算を確保し、真に必要な道路整備を進められるよう、遅れている地方の道路整備への配分割合を高めるとともに、道路整備財源の一層の充実に努めることを強く要望する。

平成19年5月8日

鳥取市長 竹内 功